



Japan Association of University and College
for Business Education

一般財団法人 全国大学実務教育協会



大学設置基準対応



オンデマンド
完全オンライン



修了認定証



オープンバッジ

大学指導補助者 教育研修プログラム オンデマンド講座

Teaching Assistant
Standard Training Program
On-Demand Course

— 〈全国共通モデルを目指して〉 —



いつでも・どこでも学べる

オンデマンド
完全オンライン講座

ご自身のペースで学習できます

教育の質を支える、
新しい大学人を育てる。



大学教育



学修支援



授業設計



授業改善



全国の大学・短期大学で活用できる標準研修プログラム
全ての講座はオンデマンドで受講可能！

完全オンライン完結型

指導補助者制度の充実が 大学教育の質保証を支える

制度改正の趣旨を踏まえ、体系的な研修体制の整備が求められています。

指導補助者の役割は、 「授業補助」から「教育活動への参画」へ

令和4年度の大学設置基準等の改正では、大学等の学生その他大学が定める者を指導補助者として授業に参画させることが制度上明確化されました。

文部科学省は、この制度改正について、学生へのより手厚い指導体制を確保し、大学教育の質の向上を図ることを目的としていると説明しています。

一方で、授業科目に関する最終的な教育責任は授業担当教員が負うこととされており、大学には役割分担や責任体制を明確にするとともに、指導補助者への適切な研修を実施することが求められています。

制度改正

令和4年度の大学設置基準等の改正により、指導補助者の授業参画が制度上明確化されました。

大学の責務

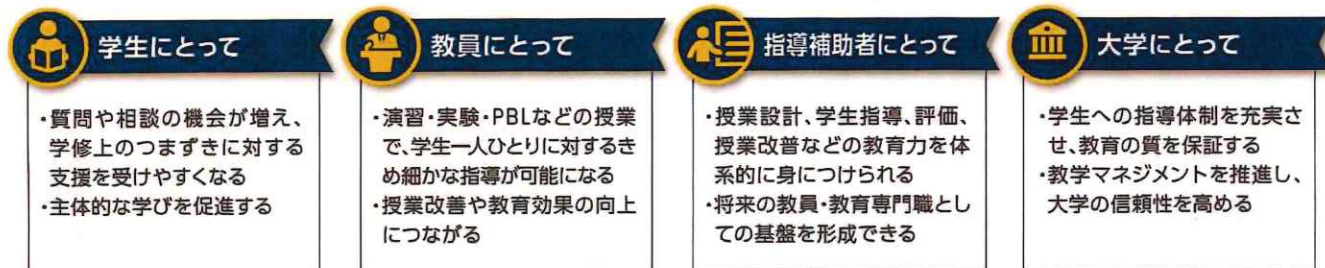
役割分担・責任体制の明確化や指導計画の策定に加え、指導補助者に対する研修の実施が求められています。

研修の必要性

指導補助者が適切に教育活動に参画し、大学教育の質保証につなげるためには、体系的な研修が不可欠です。

制度化によって広がる可能性

指導補助者の参画が進むことで、大学全体に多面的な効果が期待されます。



大学が直面する課題と全国共通モデルの必要性

指導補助者制度を実効性のあるものとするためには、大学独自の研修開発には次のような課題があります。

大学独自研修の課題



- 研修を担当できる講師が限られている
- 体系的な教材の作成に時間を要する
- 研修内容や修了基準を決めにくい
- 担当部局や担当教員の負担が大きい
- 大学ごとに研修内容や水準が異なる



JAUCB全国共通研修モデル



- ✓ 全国共通の標準カリキュラムと教材を提供
- ✓ 高等教育の専門家による質の高い講義
- ✓ 明確な修了基準と修了認定・オープンバッジ
- ✓ 大学の負担を軽減し、効率的に導入可能
- ✓ 全国共通の水準で教育の質を担保

本プログラムの 受講対象者、目的、育成能力

受講対象者

- ・ 大学、短期大学に勤務する助手、研究員、職員等
- ・ 大学、短期大学に在籍する大学院生
或いは学部学生 (TA、SA経験者含む)

プログラムの目的

- 1 高等教育に携わる「教育者としての自覚と準備」を促す。
- 2 教育や授業の改善に結びつく「教育力」を身につけ、
「研究力」や「マネジメント力」を兼備した未来型の大学人
育成を目指す。

育成する能力

上記の目的を達成するため、本プログラムでは、
育成する能力として次の4点を掲げています。

- 1 具体的な教育 (授業) 目標を設定する能力
- 2 目標達成のために行動する能力
- 3 評価指標を設定する能力
- 4 教育 (授業) 評価基準を設定する能力

本協会が提供する価値



大学設置基準に対応

制度改正の趣旨を踏まえた
研修プログラム



全国共通の研修モデル

どの大学でも活用できる
標準的なカリキュラム



オンデマンドで受講可能

時間や場所を選ばず、
柔軟に学習できる環境



教育の質保証を支える人材育成

大学教育の水準を担う人材を
体系的に育成

全国の大学・短期大学で活用できる標準研修プログラム

体系的に学ぶ8つの講座

指導補助者として必要な知識・スキルを段階的に修得します

講座	学習内容	修得できること
 講座1. 大学とは何か	「大学とは何か」とあらためて問い、その誕生近代社会におけるその再生の歴史をはじめ、様々な側面から「大学」の概念を整理した上で、今日の日本の大学の姿とそこにはらむ諸問題を考えます。	✓ 大学の成り立ちや役割を理解できる ✓ 日本の大学の現状と課題を把握できる
 講座2. 高等教育政策と各大学の課題	高等教育改革のこれまでの流れをふまえて、現在大学が直面している質保証や高大連携・入試改革などの課題について理解を深めます。	✓ 高等教育政策の流れを理解できる ✓ 大学が直面する課題を把握できる
 講座3. 大学教員の基本的な役割	大学が社会的な目的を果たすために必要な教育力の基本的な要素を把握し、大学教員に求められる役割の方向性を明らかにし、教員相互あるいは教員と職員の連携のあり方を学びます。	✓ 大学教員の役割を理解できる ✓ 教員・職員の連携のあり方を学べる
 講座4. 次世代を担う教員力 ◇教員力と自己診断(前半) 結果と今後の課題	今後、大学教育に必要とされる能動的学修を推進するために必要なチームによる授業開発やPBLなどの学修方法、地域社会や産業界と連携した授業を担う教員力について学びを深めます。 自己診断結果と講座の学修をふまえてレポートをまとめます。	✓ 能動的学修の推進方法を理解できる ✓ 社会・産業界と連携した授業力を高められる ✓ 自己の課題を明確にし、今後の改善につなげられる
 講座5. 大学授業の基礎知識	個々の大学の特色に応じた3つの方針や学位プログラムの存在、カリキュラム編成における各々の授業の位置づけ、授業形態ごとの授業力を学びます。	✓ 大学の方針と授業の関係を理解できる ✓ 授業形態に応じた授業力を身につけられる
 講座6. 教員の授業力と授業評価	「教えるから学ぶ」への学修観を転換するにあたり、学生の動機付け、他の教員との授業情報の共有化・授業評価を考えます。オンライン授業の進め方についても取り上げます。	✓ 学生の動機付けや授業評価を理解できる ✓ オンライン授業の進め方を学べる
 講座7. 授業デザインとシラバス作成	3つの方針の育成すべき資質・能力にカリキュラム・マップやカリキュラム・ツリー授業科目が位置づけられます。それをもとに授業をデザインし、シラバスを作成する方法を学びます。	✓ 授業デザインの考え方を理解できる ✓ シラバスを作成できる
 講座8. 授業運営の基礎	到達目標達成のために準備する教材の作成、授業へ能動的に参加させる方法、能動的な学修における教員の果たすべき機能と役割、ICT活用、オンライン授業のポイントなど効果的な授業運営の方法を学びます。	✓ 効果的な授業運営の方法を理解できる ✓ ICT活用やオンライン授業の実践力を高められる



修了認定であなたの学びを「見える化」

すべての講座を学修後レポートを提出し、合格された方には、本協会が認定する「修了認定証」と「デジタルオープンバッジ」を授与します。



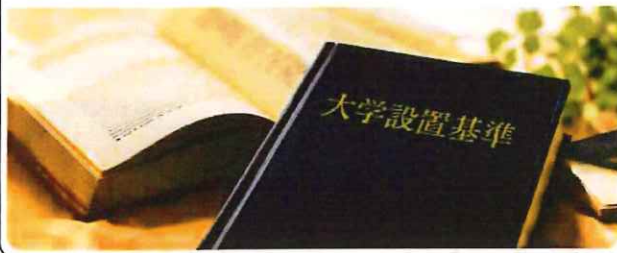
本研修は、指導補助者として大学教育の質向上に貢献するための実践的な知識とスキルを体系的に習得できるプログラムです。

本プログラム7つの強み

指導補助者として必要な知識・スキルを段階的に修得します

1 大学設置基準対応

令和4年度の大学設置基準改正に基づく「指導補助者制度」に対応した研修です。必要な要件を満たす体系的な内容で、各大学の研修実施を力強くサポートします。



2 教学マネジメント対応

教学マネジメント指針の考え方を踏まえ、学修成果の把握、授業設計、授業改善、IRの視点まで体系的に学修できるプログラムです。



3 FD研修として活用可能

FD（ファカルティ・ディベロップメント）の一環として活用できる内容です。教員を目指す大学院生の教育力向上にも最適です。



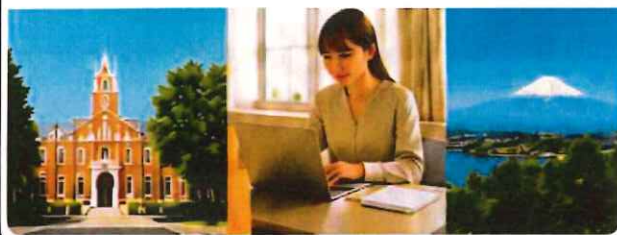
4 オンデマンドで学べる

時間や場所を選ばず学習できるオンデマンド方式。忙しい大学職員や大学院生・学生でも、自分のペースで計画的に学べます。



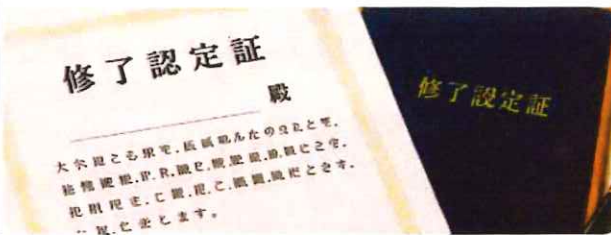
5 全国どこからでも受講可能

インターネット環境があれば、日本全国どこからでも受講できます。複数キャンパスを持つ大学や、地方大学の研修にも最適です。



6 修了認定証を授与

全8講座の修了者には「修了認定証」を授与。各大学における指導補助者の要件確認や、採用・配置の根拠として活用できます。



7 オープンバッジを発行

学修成果をデジタルで可視化できる「オープンバッジ」を発行。履歴書やポートフォリオ、学内外での能力証明に活用できます。



オープンバッジの活用例

- 履歴書・職務経歴書への掲載
- 採用・昇任時の能力証明
- 大学ポートフォリオへの登録
- LinkedIn等のプロフィールに掲載
- スマートフォンでいつでも提示可能
- 学内FD・SD活動の修了記録として活用

全国の大学の教育力向上を、確かな研修プログラムで支えます。

本研修のメリット

本研修の受講が、大学全体の価値を高めます。

指導補助者研修の充実が、大学の未来を支える力になります。



大学

指導補助者研修を体系的に導入することで、教育体制の基盤を強化します。

教育の質保証

研修によって大学全体の教育プロセスが強化され、教育の質保証につながります。

認証評価

教育体制の充実が評価され、認証評価の向上につながります。

大学ブランド向上

教育の質の高さが広く認知され、大学のブランド価値が高まります。



教員

研修で学んだ知識やスキルを活かし、教員の教育力・指導力が向上します。

授業改善

指導補助者と教員が連携し、授業の質を継続的に改善していきます。

学生

きめ細かな学修支援を受けることで、学びの満足度が高まります。

学修成果向上

学生の理解度や到達度が高まり、確かな学修成果につながります。

● 研修受講者の声 ●



Aさん
助教

本研修を通じて、学ぶことの楽しさと教育の意義を改めて実感した。学生主体の学びを支える教育を目指し、教職員との連携を深めながら、より良い教育環境づくりに努めていきたい。



Bさん
職員

大学職員としての実務を理論的に振り返ることで、自身の役割を再認識できた。経験と理論の両面を踏まえ、今後の教育改善に活かしていきたいと考えている。



Cさん
助手

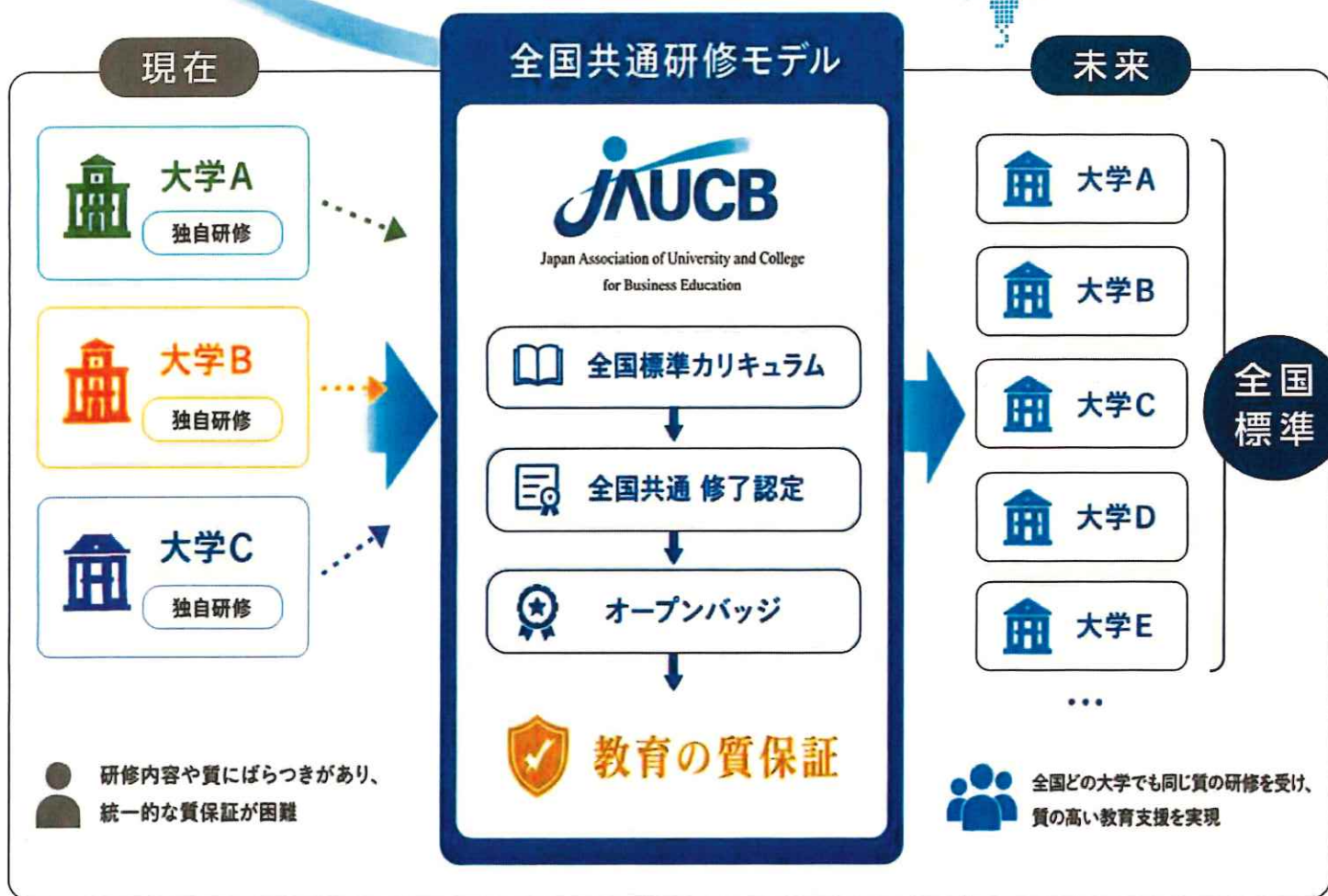
助手として、学生が安心して主体的に学び、自由に意見を発言できる環境づくりを心掛け、日々の教育支援に活かしていきたい。

「指導補助者研修の充実」から始まる好循環が、大学の未来を切り拓きます。

全国大学実務教育協会が目指す未来

— 指導補助者研修を「全国標準」へ —

全国共通の研修モデルが、大学教育の質保証を支え、
日本の高等教育の未来を作ります。



全国共通の研修制度が大学教育の未来を支える

本協会は、全国共通の指導補助者研修を通じて、
大学教育の質保証を推進するとともに、教育の高度化と学生の学修成果向上に貢献します。

さらに、本研修を全国標準モデルとして普及させることにより、
大学間で質の高い教育を共有し、日本の高等教育全体の発展を目指します。

全国標準の 指導補助者研修を目指して

大学教育は今、大きな転換期を迎えています。

教学マネジメントの実質化や学修成果の可視化が求められる中、

指導補助者は教育の質を支える重要な役割を担う存在となりました。

本協会は、長年にわたり大学教育支援に携わってきた経験を生かし、

本研修プログラムを全国で活用いただける標準的な研修モデルとして

発展させたいと考えております。

全国共通の研修制度が整備されることにより、大学教育の質保証が

さらに推進され、学生一人ひとりの学びの充実につながることを期待しております。

本研修が、各大学における教育改革の一助となり、

日本の高等教育のさらなる発展に寄与することを心より願っております。

一般財団法人全国大学実務教育協会

清水 一彦

2026年度第二期募集要項

- 開催期間** オンデマンド配信(講座1～講座8)
2026年10月3日(土)～2027年3月26日(金) [予定]
※配信期間内であれば、いつでも・どこでも受講できます。
- 定員** 30名(先着順)
- 受講料** 60,000円(会員校 50,000円)
- 修了認定** コース修了者には、修了認定証およびオープンバッジを授与します。
- 申込方法** 本協会ホームページの申込フォームからお申し込みください。※受講申込要項はホームページをご確認ください。
- 申込締切** 定員になり次第、受付を終了します。

■ お申し込みはこちらから



スマートフォンからも
簡単にお申し込み
いただけます。



申込フォーム

■ お問い合わせ先

- TEL 03-5226-7288
FAX 03-3263-8633
E-mail kouza@jaucb.gr.jp

〒102-0074

東京都千代田区九段南4-2-12
第三東郷パークビル二階
一般財団法人 全国大学実務教育協会
事務局(講座担当)

指導補助者の育成が、
大学教育の未来を創る



一般財団法人全国大学実務教育協会
Japan Association of University and College for Business Education